

BW-130BT3  
ユーザーズマニュアル



**AMEX**  
Corporation

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1	2021/1/22	初版発行

## 目次

1. はじめに.....	4
1.1 同梱品の確認.....	4
1.2 ■保証について.....	4
1.3 ■修理について.....	4
1.4 ■サポートについて.....	4
2. 安全上のご注意.....	5
3. 製品仕様.....	9
3.1 一般仕様.....	9
3.2 各部名称.....	10
3.3 動作モード.....	11
4. 操作説明.....	12
4.1 電源のオンとオフ.....	12
4.2 LEDの表示.....	12
4.3 ブザーとバイブレータ.....	12
4.4 BLUETOOTHのペアリングと接続.....	13
4.4.1 ペアリング.....	13
4.4.1.1 HIDキーボード.....	13
4.4.1.2 SPPマスタ接続.....	13
4.4.1.3 SPPスレーブ接続.....	13
4.4.1.4 USBドングル(BTR-UK4).....	13
4.4.2 接続.....	13
4.4.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去.....	14
4.5 バーコードの読み取り.....	15
4.5.1 読み取り.....	15
4.5.2 バーコードの送信.....	15
4.5.2.1 データフォーマット.....	15
5. 設定モード.....	16
5.1 設定モードの概要.....	16
5.2 設定モードの開始と終了.....	16
5.2.1 設定モードの開始方法.....	16
5.2.2 設定モードの終了方法.....	16
5.2.3 設定モードの自動終了.....	16
5.3 設定手順.....	17
5.4 初期化手順.....	17
5.5 カスタム設定.....	17
6. 設定用バーコード.....	19
6.1 共通設定.....	19
6.1.1 節電タイムアウト設定.....	19
6.1.2 動作モード設定.....	20
6.1.3 内蔵時計の日付・時刻設定.....	21
6.2 BLUETOOTHモード.....	22
6.2.1 Bluetooth 共通設定.....	22
6.2.1.1 通信モード.....	22
6.2.1.2 リモートアドレスの指定.....	23
6.2.1.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去時間.....	23
6.2.1.4 デバイス名の設定.....	24
6.2.1.5 PINコードの設定.....	25
6.2.1.6 正読・通常動作時のブザーとバイブレータ.....	27
6.2.1.7 警告時のブザーとバイブレータ.....	28

6.2.1.8	接続確認のブザーとバイブレータ	29
6.2.2	Bluetooth HID	30
6.2.2.1	HIDキーボード言語	30
6.2.2.2	HIDキー送信間隔	30
6.2.2.3	HID プリフィックスとサフィックス	31
6.2.3	Bluetooth SPP	33
6.2.3.1	SPP プリフィックスとサフィックス	33
6.2.3.2	SPP ACK待ち時間	34
6.2.4	Bluetooth USBドングル (BTR-UK4)	35
6.2.4.1	USBドングル (BTR-UK4) プリフィックスとサフィックス	35
6.3	メモリモード	37
6.3.1	メモリモード共通設定	37
6.3.1.1	正読・通常動作時のブザーとバイブレータ	37
6.3.1.2	警告時のブザーとバイブレータ	38
6.3.2	蓄積データ転送設定	39
6.3.2.1	蓄積データ転送後の自動削除	39
6.3.2.2	蓄積データ転送時のヘッダとフッタ	39
6.3.2.3	蓄積データ転送時の付加情報	40
6.3.2.4	蓄積データ転送時のレコード送信間隔	41
6.3.3	メモリモードに関連する特殊設定用バーコード	42
6.3.3.1	動作モード切り替え	42
6.3.3.2	蓄積データ転送	42
6.3.3.3	蓄積データ消去	42
6.4	読み取り設定	43
6.4.1	読み取り共通設定	43
6.4.1.1	シンボルIDの出力	43
6.4.1.2	シンボルIDのユーザ設定	44
6.4.1.3	読み取り可能桁数の設定	46
6.4.1.4	AI (アプリケーション識別子) の括弧	47
6.4.1.5	FNC1コードの出力文字設定	48
6.4.2	JAN/EAN/UPC	49
6.4.3	NW-7	50
6.4.4	Code39	51
6.4.5	Interleaved 2 of 5	52
6.4.6	Code93	53
6.4.7	Code128	53
6.4.8	GS1 DataBar	54
6.5	特殊設定用バーコード	55
6.5.1	設定開始	55
6.5.2	リモートアドレスとペアリング情報の消去	55
6.5.3	USBドングル BTR-UK4 設定変更	55
6.5.4	メモリモード関連	56
7.	付録	57
7.1	AIMシンボル識別子	57
7.2	設定一覧と初期値	58

---

# 1. はじめに

このたびは Bluetooth バーコードスキャナ「BW-130BT3」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品のハードウェア、ソフトウェアの使い方について説明しています。  
ご使用前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Google、Android は、米国 Google Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Apple、iPhone、iPad は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。
- ・ 本マニュアルの著作権はアイメックス株式会社にあり、本マニュアルの一部または全てを無断で使用、複製することは著作権法により禁じられております。
- ・ 本製品の仕様に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

---

## 1.1 同梱品の確認

本製品の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

- ◆ BW-130BT3 本体 1 台
- ◆ 単 4 形アルカリ乾電池 2 本
- ◆ シリコンカバー 1 個

---

## 1.2 ■ 保証について

製品の無償保証期間は、ご購入日より 1 年間とさせていただきます。

ただし、無償期間中でもお客様のお取扱いによる故障、損傷などは有償になります。また、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

保証対象は、製品本体のみで付属品(乾電池、シリコンカバー)を除きます。付属品の無償保証期間は、ご購入日より 4 週間とさせていただきます。ただし、初期不良がある場合のみ適用とさせていただきます。

---

## 1.3 ■ 修理について

製品の修理は全てセンドバック方式で行わせていただきます。

修理が必要になった場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

修理に関するお問い合わせは、弊社 WEB サイトのお問い合わせの「修理依頼」に入力してください。

---

## 1.4 ■ サポートについて

保証・保守・修理サポートについての詳細は、弊社ホームページ

<https://www.aimex.co.jp/support>

をご覧ください。

## 2. 安全上のご注意

ご使用の前に本書をよくお読みになり、ご使用の際には事故につながるような使い方をしないように心がけてください。

表示された内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

### 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される緊急性が高い内容を示しています。

### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりすることが想定される内容を示しています。

「ご注意」には、次の記号で内容の区分を示しています。

	「禁止」事項を表します。この記号が付いた行為等は、行わないでください。
	「強制」事項を表します。この記号が付いた行為等は、必ず行ってください。
	注意していただきたい事項です。この記号が付いた行為等にはご注意ください。

## ⚠ 危険

	<p>高温になる場所（火や暖房器具のそば、炎天下など）、湿気やほこりの多い場所、引火性ガスの発生する場所で、使用、放置、充電はしないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>
	<p>火の中に投入したり、加熱したりしないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>コネクタの端子をショートさせたり、ハンダ付けしたりしないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。</p>
	<p>水や海水などに浸けたり、濡らしたりしないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>濡れている状態では、バッテリーカバーを絶対に開けないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>

## ⚠ 警告

	<p>単4形乾電池以外の電池は使用しないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>落下や投げつけなどで、強い衝撃を与えないでください。</p> <p>漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>
	<p>発熱・発煙・異臭などが発生した時は、直ちに使用を中止し、乾電池を外してください。</p> <p>そのまま使用すると、発熱、発火の原因になります。</p>		<p>分解、改造をしないでください。</p> <p>けがや感電、火災などの事故または故障の原因になります。内部の点検、調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p> <p>改造などにより生じた問題については、一切の責任を負いかねます。</p>
	<p>電池端子に指などで触れないでください。</p> <p>感電、傷害、故障の原因になる場合があります。</p>		<p>高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器（医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など）が誤動作するなどの影響を与えることがあります。</p>
	<p>本体内部に異物を入れないでください。</p> <p>本体内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電、火災、故障の原因になります。</p>		

 注意

	<p>不安定なところに置かないでください。 けがや故障の原因になります。</p>		<p>乳幼児の手の届くところに置かないでください。 けがなどの原因になります。</p>
	<p>PC、蛍光灯、電子レンジなど、ノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。 ノイズの影響により正常に通信できなくなる場合があります。</p>		<p>必ず手に持って操作してください。 床や机に置いたままの状態では操作すると機器の故障や誤動作の原因となります。</p>
	<p>磁石、ブザー、スピーカー、ブラウン管、RFID アンテナの近くなど、強い磁界が発生する恐れがあるところで使用、保管しないでください。 本体の誤動作や故障の原因になります。</p>		<p>水をかけたりしないでください。 本体は水没、噴射水に対し保護されません。内部に水が入り感電、火災などの事故または故障の原因になります。</p>
	<p>本製品は、事務用、産業用などの一般的用途を想定したものであり、以下のように高度な安全性が要求される用途での使用を想定した製品ではありません。</p> <p>陸上／海上／航空輸送／交通の運行制御管理／原子力核施設の制御管理／生命維持装置の制御管理など</p> <p>弊社は、このような生命、人体、環境に対し重大な危険性を伴う用途での使用により発生した損害に対し、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>		

## ⚠ 電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく技術適合証明を受けた通信機器を内蔵しています。
- 本製品を分解したり、本製品の内部に触れたりすることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。
- 本製品は、下記のような状況でご使用にならないでください。
  - ・本製品を、磁石の近くで使用しないでください。正常な動作が妨げられたり、無線性能の劣化の原因となります。
  - ・心臓ペースメーカーや医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
  - ・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジからは、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
  - ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社営業担当にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

### 2.4FH2

使用周波数帯	2.4GHz 帯
変調方式	FH-SS 方式
想定干渉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能。

本製品には、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。

TELEC 認証番号 : 007-AB0042

## 3. 製品仕様

### 3.1 一般仕様

項目		仕様
CPU コア		32bit RISC CPU
メモリ		8Mbyte
キー		全 2 個 (トリガスイッチ、電源スイッチ)
LED		全 2 個 スキャン LED : 赤 / 緑 / 青 ステータス LED : 赤 / 緑 / 青
ブザー		あり
バイブレータ		あり
スキャナ部	読み取り方式	CCD リニアセンサ
	分解能	0.125mm 以上
	PCS	0.2 以上
	読取深度	50~300mm (JAN 0.33mm 時)
	読取コード	JAN, EAN, UPC, ITF (Interleaved2of5), NW-7, CODE39, CODE93, CODE128, GS1 DataBar
Bluetooth 通信部	規格	Bluetooth Specification Ver3.0 + EDR (Class2)
	通信距離	最大 10m
	プロファイル	SPP, HID
電源		単 4 アルカリ乾電池 2 本
寸法		109 × 42 × 26mm
重量		約 70g (乾電池含む)
環境性能	使用温度	-10°C ~ 40°C (但しアルカリ乾電池の温度仕様に従う)
	使用湿度	10~90% (但し結露無きこと)
	保存温度	-20°C ~ 60°C
	保存湿度	10~90% (但し結露無きこと)
	保護等級	IP54 準拠
	耐落下強度	1.2m (試験値であり、保証値ではありません。)

## 3.2 各部名称

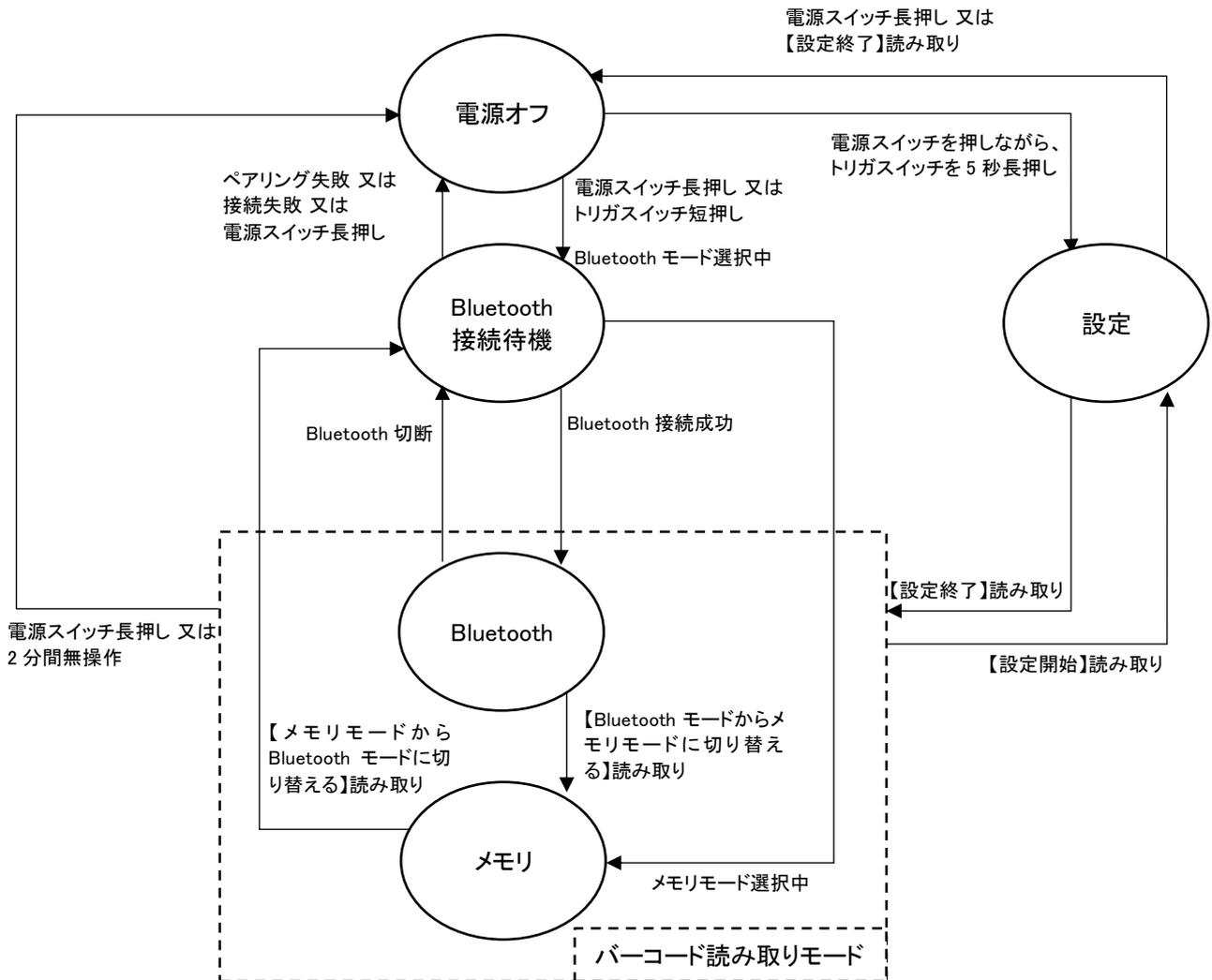


No.	名称	機能
①	ステータス LED	装置のステータスを点灯/点滅で通知します。
②	スキャン LED	バーコード読み取り時に点灯します。
③	読み取りウィンドウ	バーコードデータと設定変更用バーコードの入力に使用します。
④	ブザー	バーコード読み取り時等、装置のステータスを音で通知します。
⑤	電源スイッチ	電源 ON/OFF に使用します。
⑥	トリガスイッチ	バーコード読み取りのトリガスイッチに使用します。
⑦	製品銘板	製品銘板が表示されます。
⑧	バッテリーカバー	バッテリー室のカバーです。バッテリー室内には単 4 形アルカリ乾電池を 2 本装着します。

### 3.3 動作モード

本製品は、以下の動作モードで動作します。

分類	動作モード名	解説
通常運用のためのモード	電源オフ状態	電源がオフで、全ての機能が動作しないモード
	Bluetooth 接続待機モード	Bluetooth の検索、ペアリング、接続を行うモード
	読み取りモード	バーコードの読み取りを行うモード 読み取り後の動作によって、Bluetooth モードとメモリモードに分けられる
	Bluetooth モード	バーコードを読み取り、Bluetooth でホストに送信するモード
	メモリモード	バーコードを読み取り、内蔵メモリにデータを蓄積するモード
メンテナンスのためのモード	設定モード	設定用バーコードを読み取り、本製品の動作設定を変更するモード



## 4. 操作説明

### 4.1 電源のオンとオフ

本製品は、単 4 形アルカリ乾電池 2 本を使用します。  
乾電池の装着は、以下の手順で取り付けてください。

- ① バッテリーカバーを開けます。
- ② 電池の極性 (+、-) を確認し、単 4 形アルカリ電池を装着します。装着方向はケースに記載しています。
- ③ バッテリーカバーを取り付けます。

また、乾電池のお取り扱いについては、乾電池の使用上の注意をお守りください。

電源をオンするには、電源オフ状態において、トリガスイッチを短押しするか、電源スイッチを 1 秒間長押しして離してください。(5 秒以上長押しするとペアリング情報を消去するため、その前に離してください。)

電源をオフするには、電源スイッチを 1 秒間長押ししてください。

### 4.2 LED の表示

本製品には、スキャン LED とステータス LED の、2 つの LED があります。  
各 LED は、以下の点滅パターンと色によって、以下の状態を示しています。

#### 【ステータス LED】

意味	色	点滅パターン
ペアリング中	緑	1 秒間に 5 回の高速点滅
Bluetooth 接続試行中	青	1 秒間に 5 回の高速点滅
Bluetooth 接続中	青	1 秒間に 1 回の低速点滅
メモリモード中	緑	2 秒間に 1 回の低速点滅
設定モード中	白	1 秒間に 1 回の低速点滅

尚、電池残量が少ない場合は、上記全てのパターンにおいて、ステータス LED の点灯色が赤色になります。

#### 【スキャン LED】

意味	色	点滅パターン
ペアリング情報消去	緑	点灯継続
バーコード正読	緑	100ms の短時間点灯

### 4.3 ブザーとバイブレータ

本製品は、ブザーとバイブレータを搭載しています。  
以下のイベントに対して、ブザーとバイブレータで通知を行います。

イベント	ブザー	バイブレータ
Bluetooth 接続失敗	500ms ON	なし
Bluetooth 接続成功	なし	200ms ON
バーコード読み取り	50ms ON	なし
Bluetooth 切断	500ms ON	なし
設定モード開始	50ms ON / 50ms OFF / 2 回	なし
設定モード終了	50ms ON / 50ms OFF / 3 回	なし

ブザー、バイブレータのあり/なしは、設定用バーコードで変更可能です。

## 4.4 Bluetoothのペアリングと接続

### 4.4.1 ペアリング

本製品をホストに接続するには、最初に Bluetooth のペアリングを行う必要があります。ペアリングは、一度行えば、2 回目以降の接続時には不要です。ペアリングの情報は本製品とホストの双方の不揮発性メモリに保持され、本製品が電源オフ状態になっても保持されます。

各通信モードの設定におけるペアリング手順を解説します。  
通信モードの設定は[6.2.1.1 通信モード]を参照してください。

#### 4.4.1.1 HIDキーボード

- ① 本製品の電源を ON します。ペアリング未実施の場合、ステータス LED が緑色に点滅し、ペアリングの待ち受け状態になります。
- ② ホストから Bluetooth の周辺デバイスを検索し、「BW130BT3\_(シリアル番号)」のデバイス名を選択します。
- ③ ペアリングが成功すると、ステータス LED の点滅が青色に変わり、ホストと HID 接続されます。

#### 4.4.1.2 SPPマスタ接続

- ① ホストをペアリング可能な待ち受け状態にします。
- ② 本製品の電源を ON します。ペアリング未実行の場合、ステータス LED が緑色に点滅し、ペアリングを開始します。この際、本機より Bluetooth デバイスを検索します。  
※検索せず、指定のリモートアドレスに対してペアリングを実行することも可能です。[6.2.1.2 リモートアドレスの指定]を参照。
- ③ ペアリングが成功すると、ステータス LED が青色に点滅し、接続を行います。
- ④ ホストのアプリケーションで接続の待ち受け状態にすると、本製品からの接続が行われます。

#### 4.4.1.3 SPPスレーブ接続

- ① 本製品の電源を ON します。ペアリング未実施の場合、ステータス LED が緑色に点滅し、ペアリングの待ち受け状態になります。
- ② ホストから Bluetooth の周辺デバイスを検索し、「BW130BT3\_(シリアル番号)」のデバイス名を選択します。
- ③ ペアリングが成功すると、ステータス LED が青色に点滅し、接続の待ち受け状態になります。
- ④ ホストのアプリケーションから、本製品に対して Bluetooth 接続を行います。

#### 4.4.1.4 USB dongle (BTR-UK4)

- ① 本製品を設定モードで起動し、USB ドングルの Bluetooth デバイスアドレスをリモートアドレスに指定します。  
[6.2.1.2 リモートアドレスの指定]を参照。
- ② 設定モードを終了します。
- ③ USB ドングル(BTR-UK4)を PC の USB ポートに接続します。
- ④ 本製品の電源を ON します。ステータス LED が緑色に点滅し、指定したリモートアドレスに対してペアリングを開始します。
- ⑤ ペアリングが成功すると、ステータス LED が青色に点滅し、接続を行います。

### 4.4.2 接続

本製品は、ペアリングが完了している場合、電源 ON すると自動的に Bluetooth 接続を行います。通信モードが【SPP スレーブ接続】である場合、ホストがマスタとなるので、ホストから接続を実行する必要があります。それ以外の通信モードでは、本製品がマスタとなって接続を行うため、ペアリングをした相手であるホストが接続の待ち受け状態になっていれば、接続され、本製品はバーコード読取モードに遷移します。ホストが接続の準備状態に無い場合は、一定時間後にタイムアウトして電源オフとなります。

### 4.4.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去

リモートアドレスとペアリング情報は、本製品の不揮発性メモリに保存され、電源オフでは消えることはありません。これらを消去したい場合は、電源オフ状態から、電源スイッチ 5 秒間長押しして電源オンすることで消去されます。この際、ステータス LED とスキャン LED の両方が緑色に点灯しますので、両方の LED が点灯後、電源スイッチを離すと、再度ペアリングが開始されます。

電源スイッチの長押し時間は【リモートアドレス消去時間】の設定で変更できます。電源スイッチの長押しでペアリング情報を消去したくない場合は、この設定で【消去しない】を選択します。

参照	電源スイッチの長押し時間は、[6.2.1.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去時間]で変更できます。
参照	リモートアドレスとペアリング情報は、特殊設定用バーコードで消去することもできます。[6.5.2 リモートアドレスとペアリング情報の消去]を参照してください。



---

## 5. 設定モード

---

### 5.1 設定モードの概要

---

設定モードは、設定用バーコードというバーコードを読み取らせることで、本製品の設定を変更するためのモードです。

設定用バーコードで設定したパラメータは、本製品の不揮発性メモリに保存され、電源をオフしても初期化されることはありません。

---

### 5.2 設定モードの開始と終了

---

#### 5.2.1 設定モードの開始方法

---

設定モードを開始するには、以下の操作を行います。

設定モード開始時には、ピピッとというブザー音と共に、ステータス LED が白色に点滅します。

[電源オフ状態から設定モードを開始する方法]

- ① 電池を入れ、電源オフ状態にします
- ② 電源スイッチを先に押下し、すぐにトリガスイッチも押下します
- ③ 両スイッチを押したまま、5 秒間待ちます
- ④ 設定モードに遷移します。この際、ピピッとというブザー音と共に、ステータス LED が白色に点滅します

[バーコード読取モードから設定モードを開始する方法]

- ① バーコード読取モードで【設定開始】を読み取ります
- ② 設定モードに遷移します。この際、ピピッとというブザー音と共に、ステータス LED が白色に点滅します

#### 5.2.2 設定モードの終了方法

---

設定モードを終了するには、以下の操作を行います。

設定モード終了時には、ピピピッとというブザー音が鳴り、ステータス LED は白色点滅を終了します。

[電源スイッチで設定モードを終了する方法]

- ① 電源スイッチを 1 秒間長押しします
- ② 電源オフ状態に遷移します

[設定用バーコードで設定モードを終了する方法]

- ① 【設定終了】を読み取ります
- ② 設定モードが開始される前のモード(電源オフ状態、またはバーコード読取りモード)に遷移します

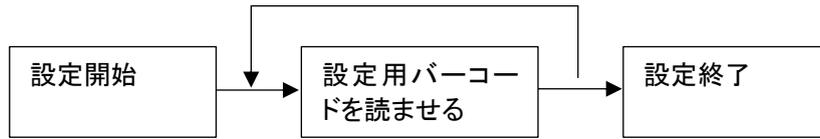
#### 5.2.3 設定モードの自動終了

---

設定モード中に 1 分間読み取りの操作を行わない場合は自動的に設定モードを終了します。自動終了した場合でも、それまでに行った設定変更は保持されます。

### 5.3 設定手順

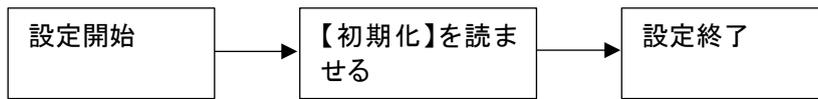
設定モードでは、複数の設定用バーコードを読ませて連続で設定変更ができます。



設定用バーコードは、読み取った時点で保存されます。

### 5.4 初期化手順

設定を工場出荷状態に初期化するには、設定モード開始後に【初期化】を読ませます。初期化では Bluetooth のペアリング情報も含めて、全ての設定が出荷時の状態に初期化されます。



設定開始	初期化	設定終了

**重要** 【初期化】を読み取ったあとは、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。ホストとのペアリング情報も消去されていますので、再度ペアリングを行ってください。

**参考** 【初期化】を読み取ったあとに、続けて他の設定を行うこともできます。この場合でも、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。

### 5.5 カスタム設定

設定開始	設定終了

【動作モード】

	*CSS*	カスタム設定として保存
	*CSL*	カスタム設定から読み出し

現在の設定値を、「カスタム設定」としてバックアップしておき、読み出すことができます。

設定モードで【カスタム設定として保存】を読ませると、現在の設定値がカスタム設定として保存されます。Bluetooth のペアリングが完了している場合、そのホストの Bluetooth アドレスをリモートアドレスとしてカスタム設定に保存します。

その後、再度設定モードで【カスタム設定から読み出し】を読ませると、カスタム設定として保存した設定値が読み出されます。

<b>重要</b>	<p>【カスタム設定から読み出し】を読み取ったあとは、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。ホストとのペアリング情報も消去されていますので、再度ペアリングを行ってください。</p> <p>通信モードが【SPP マスタ接続】または【USB ドングル(BTR-UK4)】のときはカスタム設定として保存したときにペアリング済みだったホスト(リモートアドレスとして保存していたホスト)に対してペアリングを行います。</p> <p>通信モードが【HID キーボード】または【SPP スレーブ接続】の時はペアリングの待ち受け状態になり、ホストからのペアリングを待ちます。</p>
<b>参考</b>	<p>【カスタム設定から読み出し】を読み取ったあとに、続けて他の設定を行うこともできます。この場合でも、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。</p>

## 6. 設定用バーコード

設定用バーコードの一覧です。☆印は初期値を示します。

### 6.1 共通設定

#### 6.1.1 節電タイムアウト設定

設定開始	設定終了
	

#### 【節電タイムアウト設定】

	*BN0*	なし	
	*BN1*	1分	
	*BN2*	2分	☆
	*BN3*	5分	
	*BN4*	15分	

本設定で設定された時間無操作だった時、本製品は節電のため自動的に電源がオフになります。  
【なし】を選択すると、節電タイムアウトをしなくなります。

## 6.1.2 動作モード設定

設定開始	設定終了
	

### 【動作モード】

	*MSD*	メモリモード無効 (Bluetooth モード専用)	☆
	*MSE*	メモリモード有効 (Bluetooth モード & メモリモード併用)	

メモリモードを無効にして Bluetooth モードのみで使用するか、メモリモードを有効にして Bluetooth モードと切り替えられるようにするかを選択します。

本製品は、初期状態では読み取ったデータをリアルタイムに Bluetooth 通信でホストに送信する「Bluetooth モード」で動作します。設定により、Bluetooth 未接続でデータを内蔵メモリに保存しておき、Bluetooth 接続後にまとめて送信する「メモリモード」が使用できるようになります。

Bluetooth モードは、読み取ったデータをリアルタイムに Bluetooth 通信でホストに送信します。本モードでは最初に Bluetooth 接続を行い、以後そのホストにデータを送信します。

メモリモードは、オフラインで読み取りを行い、読み取ったデータは内蔵メモリに保存します。Bluetooth モードで動作中に【Bluetooth モードからメモリモードに切り替える】を読み取ると、メモリモードに切り替わります。

戻るときは【メモリモードから Bluetooth モードに切り替える】を読み取ることによって Bluetooth モードに切り替わります。

Bluetooth モードで【蓄積データ転送】を読み取ると、メモリに保存されたデータを一括でホストに送信します。

【蓄積データ消去】を読み取ると、メモリに保存されたデータは全て消去されます。

### 【起動時の動作モード】

	*MWB*	常に Bluetooth モードで起動する	
	*MWM*	常にメモリモードで起動する	
	*MWL*	最後の動作モードで起動する	☆

本機の起動時に、どのモードで起動するかの設定です。

本設定は、メモリモード有効のときのみ動作に反映されます。メモリモードが無効の時は、本設定に関わらず常に Bluetooth モードで起動します。

#### 重要

動作モードを変更するまえに、ホストとのペアリングを実施してください。  
メモリモードから Bluetooth モードに切り替えたときにホストへの接続を試みますが、未ペアリングの場合はペアリング処理を開始します。

### 6.1.3 内蔵時計の日付・時刻設定

設定開始	設定終了
	

#### 【日時設定】

	*RSS*	入力開始	
---	-------	------	--

#### 【数値入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9

本機に内蔵している時計に日付と時刻を設定します。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【数値入力用バーコード】を用いて YYYYMMDDhhmmss 形式の 14 桁で入力します。14 桁目を入力した時点で内蔵時計にその日時を保存します。

但し、日付、時刻として異常な数値はエラーとなり、内蔵時計には保存されません。

また、不正なバーコードを読み取った場合は、読み取った時点でエラーとなり、日時入力を中断します。

例)2021 年 1 月 15 日 13 時 24 分 56 秒を設定する場合

【入力開始】→【2】→【0】→【2】→【1】→【0】→【1】→【1】→【5】→【1】→【3】→【2】→【4】→【5】→【6】  
の順で読み取らせる。

## 6.2 Bluetoothモード

### 6.2.1 Bluetooth 共通設定

動作モードを Bluetooth モードで使用する際の共通設定です。

#### 6.2.1.1 通信モード

設定開始	設定終了
	

#### 【通信モード】

	*BMH*	HID キーボード	☆
	*BMM*	SPP マスタ接続	
	*BMS*	SPP スレーブ接続	
	*BMU*	USB ドングル(BTR-UK4)	

Bluetooth の通信モードの設定です。

【HID キーボード】に設定した場合は、BW-130BT3 は HID でペアリング、接続を行います。未ペアリング時は BW-130BT3 が待ち受け状態となり、ホストからの検索で見つけることができるようになります。

【SPP マスタ接続】に設定した場合は、BW-130BT3 は SPP でペアリング、接続を行います。BW-130BT3 が周辺の Bluetooth デバイスを検索し、最初に見つかったデバイスに対してペアリングを行います。接続は、ペアリング済みのデバイスに対して行います。設定用バーコードでリモートアドレスを指定している場合は、周辺の検索をせずに、そのアドレスに対してペアリングを実行します。

【SPP スレーブ接続】に設定した場合は、BW-130BT3 は SPP でペアリング、接続を行います。BW-130BT3 が待ち受け状態となり、ホストからの検索で見つけることができます。ペアリング、接続共にホスト側の Bluetooth デバイスから行い、BW-130BT3 はそれを待ち受けます。

【USB ドングル(BTR-UK4)】は、オプション品の USB ドングル BTR-UK4(別売)と接続して使用するときの専用モードです。BTR-UK4 と接続する際は、本設定を選択してください。BTR-UK4 のアドレスをリモートアドレスとして指定しておくことで、そのアドレスに対してペアリングを実行します。

#### 重要

通信モードを変更した場合には再度ペアリングをやりなおす必要があるため、本設定用バーコードを読み取ったあとは、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。ホストとのペアリング情報も消去されていますので、再度ペアリングを行ってください。

#### 重要

既にホストとペアリング済みの場合は、そのホストに保存されているペアリング情報もあわせて消去してください。消去方法はホスト機器の取扱説明書をご覧ください。

#### 参考

通信モードを変更したあとに、続けて他の設定を行うこともできます。この場合でも、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。

### 6.2.1.2 リモートアドレスの指定

設定開始	設定終了
	

通信モードが【SPP マスタ接続】または【USB ドングル (BTR-UK4)】でのペアリング実行時に、周辺の Bluetooth デバイスを検索するのではなく、本項で設定したリモートアドレスに決め打ちでペアリングを行うことができます。本設定用バーコードは、既にペアリング済であった場合はペアリング情報も消去します。

本設定用バーコードは、ホストの Bluetooth アドレスを指定する為、お客様が作成する必要があります。Code39 のバーコード種別にて、先頭が「BARS」で始まり、それに 12 桁の 16 進数のアドレスが連結されたものが、本設定用バーコードとなります。

例)ホストの Bluetooth デバイスアドレスが「68:EC:C5:1F:DE:1A」の場合



\*BARS68ECC51FDE1A\*

または、通信モードが【USBドングル (BTR-UK4)】で、オプション品の BTR-UK4 とペアリングする場合は、BTR-UK4 の側面に貼られているラベルの、「ZBT2」で始まるバーコードを読み取ることで、同様にリモートアドレスを設定できます。

#### 重要

リモートアドレスを変更した場合には、設定した新しいホストとペアリングをやりなおす必要があるため、本設定用バーコードを読み取ったあとは、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。ホストとのペアリング情報も消去されていますので、再度ペアリングを行ってください。

#### 参考

リモートアドレスを変更したあとに、続けて他の設定を行うこともできます。この場合でも、【設定終了】を読み取った時点で電源オフとなります。

### 6.2.1.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去時間

設定開始	設定終了
	

#### 【リモートアドレスとペアリング情報の消去時間】

	*PC0*	3 秒	
	*PC1*	5 秒	☆
	*PC2*	10 秒	
	*PC3*	15 秒	
	*PCD*	消去しない	

電源スイッチ長押しによるリモートアドレスとペアリング情報の消去 ([4.4.3 リモートアドレスとペアリング情報の消去]を参照)において、電源スイッチを監視する時間を設定します。【消去しない】を選択すると、電源スイッチの長押しではリモートアドレスとペアリング情報を消去しなくなります。

### 6.2.1.4 デバイス名の設定

設定開始	設定終了
	

自機の Bluetooth デバイス名に、任意の 8 文字までの英数字を設定します。  
 本製品の Bluetooth デバイス名は、デフォルトでは「BW130BT3\_(シリアル番号)」です。本設定をすることで、シリアル番号の部分に、「BW130BT3\_12345678」のように、任意の 8 文字までの英数字を追加することができます。  
 Bluetooth デバイス名は、ホストの Bluetooth 設定画面などに表示されます。

Bluetooth デバイス名を指定するため、本設定用バーコードはユーザが作成する必要があります。  
 Code39 のバーコード種別にて、先頭が「BDLS」で始まり、それに最大 8 桁の英数字が連結されたものが、本設定用バーコードとなります。

例) 自機のデバイス名を「BW130BT3\_12345678」にする場合



\*BDLS12345678\*

デバイス名を初期状態に戻すには、以下の設定用バーコードを使用します。

#### 【デバイス名初期化】

	*BDLC*	自機の Bluetooth デバイス名を初期化する	
--	--------	---------------------------	--

### 6.2.1.5 PINコードの設定

設定開始	設定終了
	

【PIN コード】

	*BPS*	入力開始	
---	-------	------	--

【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

【文字列入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9

	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F
	*0G*	G		*0H*	H
	*0I*	I		*0J*	J
	*0K*	K		*0L*	L
	*0M*	M		*0N*	N
	*0O*	O		*0P*	P
	*0Q*	Q		*0R*	R
	*0S*	S		*0T*	T
	*0U*	U		*0V*	V
	*0W*	W		*0X*	X
	*0Y*	Y		*0Z*	Z

	*2A*	a		*2B*	b
	*2C*	c		*2D*	d
	*2E*	e		*2F*	f
	*2G*	g		*2H*	h

	*2I*	i		*2J*	j
	*2K*	k		*2L*	l
	*2M*	m		*2N*	n
	*2O*	o		*2P*	p
	*2Q*	q		*2R*	r
	*2S*	s		*2T*	t
	*2U*	u		*2V*	v
	*2W*	w		*2X*	x
	*2Y*	y		*2Z*	z

Bluetooth ペアリング時の PIN コードの設定です。

本機は SSP(Secure Simple Pairing)に対応しているため、Bluetooth 2.1 以降のホストとペアリングする際には PIN コードは不要です。Bluetooth 2.0 以前のホストとペアリングを行う時に PIN コードが使用されます。

PIN コードは、最大 16 文字まで設定可能です。本機の PIN コードの初期値は”1234”です。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【文字列入力用バーコード】を用いて入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、16 文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例)PIN コードを”123456”にする場合

【入力開始】→【1】→【2】→【3】→【4】→【5】→【6】→【入力終了】

の順で読み取らせる。

## 6.2.1.6 正読・通常動作時のブザーとバイブレータ

設定開始	設定終了
	

## 【正読・通常動作時のブザーとバイブレータ】

	*BRDA*	ブザーとバイブレータ	
	*BRDB*	ブザーのみ	☆
	*BRDV*	バイブレータのみ	
	*BRDN*	なし	

## 【ブザーの音量】

	*BRV1*	Vol1(最小)	
	*BRV2*	Vol2	
	*BRV3*	Vol3	
	*BRV4*	Vol4(最大)	☆

Bluetooth モード時における、正読・通常動作時のブザーとバイブレータの動作設定です。

## 6.2.1.7 警告時のブザーとバイブレータ

設定開始	設定終了
	

## 【警告時のブザーとバイブレータ】

	*BADA*	ブザーとバイブレータ	
	*BADB*	ブザーのみ	☆
	*BADV*	バイブレータのみ	
	*BADN*	なし	

## 【ブザーの音量】

	*BAV1*	Vol1(最小)	
	*BAV2*	Vol2	
	*BAV3*	Vol3	
	*BAV4*	Vol4(最大)	☆

Bluetooth モード時における、警告時のブザーとバイブレータの動作設定です。

## 6.2.1.8 接続確認のブザーとバイブレータ

設定開始	設定終了
	

## 【接続確認のブザーとバイブレータ】

	*BCDA*	ブザーとバイブレータ	
	*BCDB*	ブザーのみ	
	*BCDV*	バイブレータのみ	☆
	*BCDN*	なし	

## 【ブザーの音量】

	*BCV1*	Vol1(最小)	
	*BCV2*	Vol2	
	*BCV3*	Vol3	
	*BCV4*	Vol4(最大)	☆

Bluetooth モード時における、Bluetooth 接続が成功した時のブザーとバイブレータの動作設定です。

## 6.2.2 Bluetooth HID

通信モードを【HID キーボード】で使用する際の通信設定です。

### 6.2.2.1 HIDキーボード言語

設定開始	設定終了
	

#### 【HID キーボード言語】

	*HLJ*	日本語キーボード	☆
	*HLU*	英語キーボード	

### 6.2.2.2 HIDキー送信間隔

設定開始	設定終了
	

#### 【HID キー送信間隔】

	*HI0*	送信間隔無し	☆
	*HI1*	送信間隔 10ms	
	*HI2*	送信間隔 20ms	
	*HI3*	送信間隔 30ms	
	*HI4*	送信間隔 40ms	
	*HI5*	送信間隔 50ms	
	*HI6*	送信間隔 60ms	
	*HI7*	送信間隔 70ms	
	*HI8*	送信間隔 80ms	
	*HI9*	送信間隔 90ms	
	*HIA*	送信間隔 100ms	
	*HIB*	送信間隔 110ms	
	*HIC*	送信間隔 120ms	

HID 送信時のキー送信間隔の設定です。

HID で使用時には、読み取ったデータはキーボードのキー押下情報としてホスト端末に送信されます。

ホスト端末のスペックが低い時、あるいは負荷が高い時などに、ホスト端末がキー押下情報を取りこぼすことがあります。

キー押下情報を送信する間隔を開けることで、取りこぼしを回避できることがあります。

## 6.2.2.3 HID プリフィックスとサフィックス

設定開始	設定終了
	

## 【HID プリフィックス】

	*HPS*	入力開始	
---	-------	------	--

## 【HID サフィックス】

	*HSS*	入力開始	
---	-------	------	--

## 【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

## 【16 進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9
	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F

通信モードを【HID】で使用時の、プリフィックスとサフィックスの設定です。

プリフィックスとサフィックスは共に、00H を除く下表のコードで、最大 8 文字まで設定可能です。

一部の制御文字のコードにはカーソルキーや Enter キー等の機能キーを割り当てています。表中の空白はキーボードで入力できない制御コードで、そのコードを指定した場合の動作はホストの機種依存の動作となります。このため、英数記号以外の文字を指定することは推奨しません。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【16 進数入力用バーコード】を用いて 16 進数で 2 桁ずつ入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、8 文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合や 00H を入力した場合、入力桁数が奇数の場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) Enter キー(0DH)を付加する場合

プリフィックスやサフィックスの【入力開始】→【0】→【D】→【0】→【A】→【入力終了】  
の順で読み取らせる。

プリフィックスとサフィックスを付加しない(既に設定済の値を削除したい)場合は、【入力開始】の直後に【入力終了】を読み取らせてます。

		上位 4 ビット							
		0	1	2	3	4	5	6	7
下位 4 ビット	0	(禁止)		sp	0	@	P	`	p
	1	↑		!	1	A	Q	a	q
	2	↓		"	2	B	R	b	r
	3	←		#	3	C	S	c	s
	4	→		\$	4	D	T	d	t
	5	右 Ctrl		%	5	E	U	e	u
	6			&	6	F	V	f	v
	7			'	7	G	W	g	w
	8			(	8	H	X	h	x
	9	TAB		)	9	I	Y	i	y
	A			*	:	J	Z	j	z
	B			+	;	K	[	k	{
	C			,	<	L	¥	l	
	D	Enter		-	=	M	]	m	}
	E			.	>	N	^	n	~
	F			/	?	O	_	o	

## 6.2.3 Bluetooth SPP

通信モードを【SPP マスタ接続】または【SPP スレーブ接続】で使用する際の通信設定です。

### 6.2.3.1 SPP プリフィックスとサフィックス

設定開始	設定終了
	

#### 【SPP プリフィックス】

	*SPS*	入力開始	
---	-------	------	--

#### 【SPP サフィックス】

	*SSS*	入力開始	
---	-------	------	--

#### 【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

#### 【16 進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9
	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F

通信モードを【SPP マスタ接続】または【SPP スレーブ接続】で使用時の、プリフィックスとサフィックスの設定です。

プリフィックスとサフィックスは共に、00H を除く任意の ASCII コードで、最大 4 文字まで設定可能です。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【16 進数入力用バーコード】を用いて 16 進数で 2 桁ずつ入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、4 文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合や 00H を入力した場合、入力桁数が奇数の場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) CR(0DH)+LF(0AH)を付加する場合

プリフィックスやサフィックスの【入力開始】→【0】→【D】→【0】→【A】→【入力終了】  
の順で読み取らせる。

プリフィックスとサフィックスを付加しない(既に設定済の値を削除したい)場合は、【入力開始】の直後に【入力終了】を読み取らせてます。

## 6.2.3.2 SPP ACK待ち時間

設定開始	設定終了
	

## 【SPP ACK 待ち時間】

	*SA1*	1 秒	
	*SA2*	2 秒	
	*SA3*	3 秒	☆
	*SA4*	4 秒	
	*SA5*	5 秒	
	*SA6*	6 秒	
	*SA7*	7 秒	
	*SA8*	8 秒	
	*SA9*	9 秒	

通信モードを【SPP マスタ接続】または【SPP スレーブ接続】で使用時の、ACK 待ち時間の設定です。  
 設定した時間を経過しても ACK または NAK を受信できない時は、送信エラーとして現在の通信を中断し、Bluetooth の切断と再接続を行います。

## 6.2.4 Bluetooth USBドングル(BTR-UK4)

通信モードを【USBドングル(BTR-UK4)】で使用する際の通信設定です。

### 6.2.4.1 USBドングル(BTR-UK4) プリフィックスとサフィックス

設定開始	設定終了
	

#### 【USBドングル プリフィックス】

	*UPS*	入力開始	
---	-------	------	--

#### 【USBドングル サフィックス】

	*USS*	入力開始	
---	-------	------	--

#### 【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

#### 【16進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9
	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F

通信モードを【USBドングル(BTR-UK4)】で使用する際の、プリフィックスとサフィックスの設定です。

プリフィックスとサフィックスは共に、00Hを除く下表のコードで、最大8文字まで設定可能です。

一部の制御文字のコードにはカーソルキーや Enter キー等の機能キーを割り当てています。表中の空白はキーボードで入力できない制御コードで、そのコードを指定した場合の動作はホストの機種依存の動作となります。このため、英数記号以外の文字を指定することは推奨しません。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【16進数入力用バーコード】を用いて16進数で2桁ずつ入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、8文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合や 00H を入力した場合、入力桁数が奇数の場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) Enter キー(0DH)を付加する場合

プリフィックスやサフィックスの【入力開始】→【0】→【D】→【0】→【A】→【入力終了】の順で読み取らせる。

プリフィックスとサフィックスを付加しない(既に設定済の値を削除したい)場合は、【入力開始】の直後に【入力終

了】を読み取らせませす。

		上位 4 ビット							
		0	1	2	3	4	5	6	7
下位 4 ビット	0	(禁止)		sp	0	@	P	`	p
	1	↑		!	1	A	Q	a	q
	2	↓		“	2	B	R	b	r
	3	←		#	3	C	S	c	s
	4	→		\$	4	D	T	d	t
	5			%	5	E	U	e	u
	6			&	6	F	V	f	v
	7			'	7	G	W	g	w
	8			(	8	H	X	h	x
	9	TAB		)	9	I	Y	i	y
	A			*	:	J	Z	j	z
	B			+	;	K	[	k	{
	C			,	<	L	¥	l	
	D	Enter		-	=	M	]	m	}
	E			.	>	N	^	n	~
	F			/	?	O	_	o	

## 6.3 メモリモード

### 6.3.1 メモリモード共通設定

動作モードをメモリモードで使用する際の設定です。

#### 6.3.1.1 正読・通常動作時のブザーとバイブレータ

設定開始	設定終了
	

##### 【正読・通常動作時のブザーとバイブレータ】

	*MRDA*	ブザーとバイブレータ	
	*MRDB*	ブザーのみ	☆
	*MRDV*	バイブレータのみ	
	*MRDN*	なし	

##### 【ブザーの音量】

	*MRV1*	Vol1(最小)	
	*MRV2*	Vol2	
	*MRV3*	Vol3	
	*MRV4*	Vol4(最大)	☆

メモリモード時における、正読・通常動作時のブザーとバイブレータの動作設定です。

## 6.3.1.2 警告時のブザーとバイブレータ

設定開始	設定終了
	

## 【バーコード読み取り時のブザーとバイブレータ】

	*MADA*	ブザーとバイブレータ	
	*MADB*	ブザーのみ	☆
	*MADV*	バイブレータのみ	
	*MADN*	なし	

## 【ブザーの音量】

	*MAV1*	Vol1(最小)	
	*MAV2*	Vol2	
	*MAV3*	Vol3	
	*MAV4*	Vol4(最大)	☆

メモリモード時における、警告時のブザーとバイブレータの動作設定です。

## 6.3.2 蓄積データ転送設定

メモリモードで蓄積したデータを Bluetooth モードに遷移後にホストに転送するときの設定です。

### 6.3.2.1 蓄積データ転送後の自動削除

設定開始	設定終了
	

#### 【転送後自動削除】

	*MCE*	有効	
	*MCD*	無効	☆

【蓄積データ転送】を読み取ってメモリに保存されたデータの送信が完了した後、自動的にデータを消去する機能の設定です。

無効にした場合は自動的に消去されず、【蓄積データ消去】を読み取って消去する必要があります。

尚、データの送信途中で Bluetooth が切断するなどエラーが発生して送信が中断された場合は、データ送信が未完了のため、自動消去は行われません。

### 6.3.2.2 蓄積データ転送時のヘッダとフッタ

設定開始	設定終了
	

#### 【ヘッダ/フッタ付加】

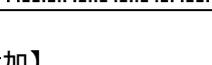
	*MHE*	付加する	☆
	*MHD*	付加しない	

【蓄積データ転送】を読み取ってメモリに保存されたデータの送信を行う際、データの送信前にヘッダを、データの送信後にフッタを付加する機能の設定です。ヘッダは「\*Start\*」、フッタは「\*End\*」の固定文字列です。

## 6.3.2.3 蓄積データ転送時の付加情報

設定開始	設定終了
	

## 【日付付加】

	*AD0*	日付を付加する(YYYYMMDD)	
	*AD1*	日付を付加する(MMDDYYYY)	
	*AD2*	日付を付加する(DDMMYYYY)	
	*AD3*	日付を付加する(YMDD)	
	*AD4*	日付を付加する(MMDDYY)	
	*AD5*	日付を付加する(DDMMYY)	
	*ADD*	日付を付加しない	☆

## 【時刻付加】

	*AT0*	時刻を付加する(HH:MM:SS)	
	*AT1*	時刻を付加する(HH:MM)	
	*AT2*	時刻を付加する(MM:SS)	
	*ATD*	時刻を付加しない	☆

## 【シリアル番号付加】

	*ASA*	シリアル番号を付加する	
	*ASD*	シリアル番号を付加しない	☆

メモリモードで蓄積したデータの送信時、バーコード読み取りデータに、バーコードを読み取った日付と時刻、及びシリアル番号を付加して出力する機能の設定です。

## 6.3.2.4 蓄積データ転送時のレコード送信間隔

設定開始	設定終了
	

## 【レコード送信間隔】

	*MIS*	入力開始	
---	-------	------	--

## 【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

## 【10進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9

【蓄積データ転送】を読み取ってメモリに保存されたデータの送信を行う際、送信レコード間にインターバルを設ける設定です。

ホストの処理速度が遅いなどの理由によりデータの取りこぼしが発生する場合は、本設定で間隔を開けて送信することで改善することがあります。

レコード送信間隔は、0 から 255 まで、10ms 単位の数値で入力可能です。

例) 255 を設定した場合、送信レコード間のインターバルは 2550ms

設定は、【入力開始】を読み取り後、【10進数入力用バーコード】を用いて 0 から 255 までの数値を入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

不正なバーコードを読み取った場合や、入力した値が 256 以上になった場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) 50 を設定する場合 (インターバル 500ms)

【入力開始】→【5】→【0】→【入力終了】

の順で読み取らせる。

### 6.3.3 メモリモードに関連する特殊設定用バーコード

Bluetooth モードとメモリモードの相互の切り替えや、蓄積したデータの送信、消去は本製品の使用中に頻繁に行われる操作であるため、設定モードに遷移せずに使用できる特殊設定用バーコードとして用意されています。

<b>参 考</b>	特殊設定用バーコードとは、バーコード読み取りモードで使用する特別な機能を持った設定用バーコードです。 設定モードでは読み取ることができません。
----------------	--

#### 6.3.3.1 動作モード切り替え

##### 【動作モード切り替え】

	LMPB	メモリモードから Bluetooth モードに切り替える	
	LMPM	Bluetooth モードからメモリモードに切り替える	

メモリモード有効時に、Bluetooth モードとメモリモードを切り替えます。  
Bluetooth モードに切り替えた時は、Bluetooth の接続を行います。  
メモリモードに切り替えた時は、Bluetooth を切断します。

#### 6.3.3.2 蓄積データ転送

##### 【蓄積データ転送】

	LMSN	蓄積データ転送	☆
---	------	---------	---

内蔵メモリに蓄積したデータをホストに送信します。  
本製品は、Bluetooth モードで、ホストと Bluetooth 接続が完了した状態でのみ行えます。メモリモードでは使用できません。  
蓄積データは、【蓄積データ消去】を行うか、【転送後自動削除】を【有効】設定で送信するまで何回でも出力できます。

#### 6.3.3.3 蓄積データ消去

##### 【蓄積データ消去】

	LMCL	蓄積データ消去	☆
---	------	---------	---

内蔵メモリに蓄積したデータを消去します。

<b>注 意</b>	蓄積したデータを転送する前に消去すると、蓄積データを出力できなくなります。 重要な蓄積データは転送後に消去してください。
----------------	---

## 6.4 読み取り設定

### 6.4.1 読み取り共通設定

バーコード読み取りの設定です。

#### 6.4.1.1 シンボルIDの出力

設定開始	設定終了
	

#### 【シンボルIDの出力】

	*SND*	出力しない	☆
	*SNE*	ユーザ設定の文字を出力する	
	*SNA*	AIM シンボル識別子を出力する	

読み取ったバーコードデータを出力する際に、シンボルの種別をデータの先頭に付加する設定です。

【ユーザ設定の文字を出力する】を選択した場合は、シンボル種別毎にユーザが設定した最大 2 文字がバーコードデータの前に付加されます。

【AIM シンボル識別子を出力する】を選択した場合は、シンボル種別毎に AIM の規定した 3 文字のシンボル識別子がバーコードデータの前に付加されます。

AIM シンボル識別子は “]cm” の書式で、c はシンボル種別毎に定められた Code Charactor、m は Modifier です。

<b>参 照</b>	AIM シンボル識別子の詳細は[7.1 AIM シンボル識別子]を参照してください。
----------------	--

## 6.4.1.2 シンボルIDのユーザ設定

設定開始	設定終了
	

## 【ユーザ設定開始】

	*SIJS*	JAN13 のシンボル ID を入力開始	
	*SI8S*	JAN8 のシンボル ID を入力開始	
	*SIAS*	UPC-A のシンボル ID を入力開始	
	*SIES*	UPC-E のシンボル ID を入力開始	
	*SINS*	NW-7 のシンボル ID を入力開始	
	*SITS*	Interleaved 2 of 5 (ITF)のシンボル ID を入力開始	
	*SICS*	Code39 のシンボル ID を入力開始	
	*SI1S*	Code128 のシンボル ID を入力開始	
	*SIGS*	GS1-128 のシンボル ID を入力開始	
	*SIOS*	GS1 DataBar のシンボル ID を入力開始	
	*SILS*	GS1 DataBar Limited のシンボル ID を入力開始	
	*SIXS*	GS1 DataBar Expanded のシンボル ID を入力開始	

## 【ユーザ設定終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

## 【16進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9
	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F

シンボル ID の出力を【ユーザ設定の文字を出力する】で使用時の、出力する文字の設定です。

シンボル ID は、00H を除く任意の ASCII コードで、最大 2 文字まで設定可能です。但し、通信モードを【HID キーボード】または【USB ドングル (BTR-UK4)】で使用しているときに、キーボードで入力できないような制御コードを指定した場合の動作は、ホストの機種依存の動作となります。このため、英数記号以外の文字を指定することは推奨しません。

シンボル ID の初期値は下表の通りです。

バーコードの種類	ユーザ設定初期値
JAN/EAN-13	F
JAN/EAN-8	F
UPC-A	A
UPC-E	E
NW-7	N
Code39	M
Interleaved 2 of 5	I
Code93	L
Code128	K
GS1-128	K
GS1 DataBar	T
GS1 DataBar Limited	U
GS1 DataBar Expanded	W

設定は、【〇〇(シンボル種別)のシンボル ID を入力開始】を読み取り後、【16 進数入力用バーコード】を用いて 16 進数で 2 桁ずつ入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、2 文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合や 00H を入力した場合、入力桁数が奇数の場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) 'A' (41H) を付加する場合

【入力開始】→【4】→【1】→【入力終了】  
の順で読み取らせる。

例) 'A' (41H) + 'Z' (5AH) を付加する場合

【入力開始】→【4】→【1】→【5】→【A】  
の順で読み取らせる。

ユーザ設定のシンボル ID を出力しない(既に設定済の値を削除したい)場合は、【〇〇(シンボル種別)のシンボル ID を入力開始】の直後に【入力終了】を読み取らせてます。

## 6.4.1.3 読み取り可能桁数の設定

設定開始	設定終了
	

## 【ユーザ設定開始】

	SLNS	NW-7 の読み取り桁数を入力開始	
	SLCS	Code39 の読み取り桁数を入力開始	
	SLTS	Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数を入力開始	
	SL9S	Code93 の読み取り桁数を入力開始	
	SL1S	Code128 の読み取り桁数を入力開始	

## 【10 進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9

バーコード種別毎の読み取り可能桁数の最小値と最大値の設定です。

設定は、【○○(シンボル種別)の読み取り桁数を入力開始】を読み取り後、【10 進数入力用バーコード】を用いて最小桁数→最大桁数の順で、10 進数で 2 桁ずつ、合計 4 回入力します。4 回入力後、自動的に完了します。設定可能な桁数は、最小桁数が 1 桁、最大桁数は 55 桁です。設定値が 1 桁の場合は、十の位には 0 をつけて 2 桁で入力します。

例) 最小 1 桁、最大 55 桁を読み取り許可する場合

【入力開始】→【0】→【1】→【5】→【5】

の順で読み取らせる。

例) 10 桁のバーコードのみ読み取り許可する場合

【入力開始】→【1】→【0】→【1】→【0】

の順で読み取らせる。(最小桁数と最大桁数を、共に「10」に設定する)

本製品のバーコード種別毎の読み取り可能桁数の初期値は以下の通りです。

シンボル種別	最小桁数	最大桁数	備考
NW7	3	55	スタート/ストップ含む
Code39	1	55	スタート/ストップ除く
Interleaved 2 of 5	4	55	
Code93	1	55	
Code128	1	55	

#### 6.4.1.4 AI(アプリケーション識別子)の括弧

設定開始	設定終了
	

##### 【AIの括弧】

	*GAD*	括弧をつけない	
	*GAE*	括弧をつける	☆

GS1-128 および GS1 DataBar を読み取った際、AI(アプリケーション識別子)に括弧を付加する設定です。

【括弧をつけない】を選択したときは、読み取りデータはそのまま出力されます。

【括弧をつける】を選択したときは、AIの前後に括弧を付加して出力します。

可変長 AI のセパレータ(FNC1)は【FNC1コードの出力文字】の設定に従って置き換えられます。

## 6.4.1.5 FNC1コードの出力文字設定

設定開始	設定終了
	

## 【FNC1コードの出力文字】

	*GRS*	入力開始	
---	-------	------	--

## 【入力終了】

	*IZZ*	入力終了	
---	-------	------	--

## 【16進数入力用バーコード】

	*00*	0		*01*	1
	*02*	2		*03*	3
	*04*	4		*05*	5
	*06*	6		*07*	7
	*08*	8		*09*	9
	*0A*	A		*0B*	B
	*0C*	C		*0D*	D
	*0E*	E		*0F*	F

GS1-128 および GS1 DataBar を読み取った際、可変長 AI のセパレータである FNC1 を置き換えて出力する文字の設定です。

出力文字は、00H を除く任意の ASCII コードで、最大 2 文字まで設定可能です。

また、「出力しない」(FNC1 の代わりに出力する文字無し)も設定できる。初期値は「出力しない」です。

但し、通信モードを【HID キーボード】または【USB ドングル(BTR-UK4)】で使用しているときに、キーボードで入力できないような制御コードを指定した場合の動作は、ホストの機種依存の動作となります。このため、英数記号以外の文字を指定することは推奨しません。

設定は、【入力開始】を読み取り後、【16 進数入力用バーコード】を用いて 16 進数で 2 桁ずつ入力し、最後に【入力終了】を読み取らせて完了させます。

但し、2 文字目まで入力完了した場合は、【入力終了】を読み取らなくても自動的に終了します。

また、不正なバーコードを読み取った場合や 00H を入力した場合、入力桁数が奇数の場合はエラーとなり、それまで読み取った値は破棄して入力を終了します。

例) ' ,(カンマ) ' (2CH) に置き換える場合

【入力開始】→【2】→【C】→【入力終了】  
の順で読み取らせる。

例) ' + ' (2BH) ' / ' (2FH) に置き換える場合

【入力開始】→【2】→【B】→【2】→【F】  
の順で読み取らせる。

FNC1 に代わる文字を出力しない場合は、【入力開始】の直後に【入力終了】を読み取らせませす。

## 6.4.2 JAN/EAN/UPC

設定開始	設定終了
	

## 【読み取り】

	*WDD*	禁止	
	*WDE*	許可	☆

## 【チェックディジット】

	*WMN*	削除する	
	*WMO*	出力する	☆

## 【アドオンの読み取り】

	*WSD*	読み取らない	☆
	*WSE*	アドオンのみ読み取る	
	*WSM*	両方読み取る(自動判別)	

## 注意

【両方読み取る】に設定した場合、アドオン付きのラベルを読み取ろうとした際にアドオンにも正しく読み取り光を当てないと、アドオン無しのバーコード本体のみ読み取ってしまいます。

## 【UPC-A プリアンブルの付与】

	*WAN*	付与しない(11桁)	
	*WAD*	システムキャラクタを付与する(12桁)	
	*WAE*	カントリーコードとシステムキャラクタを付与する(13桁)	☆

## 【UPC-E プリアンブルの付与】

	*WEN*	付与しない(7桁)	☆
	*WED*	システムキャラクタを付与する(8桁)	
	*WEE*	カントリーコードとシステムキャラクタを付与する(9桁)	

## 6.4.3 NW-7

設定開始	設定終了
	

## 【読み取り】

	*NDD*	禁止	
	*NDE*	許可	☆

## 【チェックディジット】

	*NMD*	検査しない	☆
	*NMN*	検査して削除する	
	*NMO*	検査して出力する	

## 【チェックディジットの計算方法】

	*NC0*	モジュラス 16	☆
	*NC7*	セブンチェック(AA, BB チェック)	
	*NC8*	セブンチェック	

【セブンチェック(AA, BB チェック)】を選択している場合、スタート・ストップコードが”AA”または”BB”のバーコードのみ検査を行います。それ以外のバーコードは、検査を行わずチェックディジットなしとして読み取ります。

## 【スタート/ストップコード】

	*NSN*	出力しない	
	*NSS*	出力する(小文字, a/b/c/d)	☆
	*NSL*	出力する(大文字, A/B/C/D)	

## 【先頭ゼロのトリミング】

	*NZD*	トリミングしない	☆
	*NZE*	トリミングする	

## 6.4.4 Code39

設定開始	設定終了
	

## 【読み取り】

	*CDD*	禁止	
	*CDE*	許可	☆

## 【チェックディジット】

	*CMD*	検査しない	☆
	*CMN*	検査して削除する	
	*CMO*	検査して出力する	

## 【スタート/ストップコード】

	*CSN*	出力しない	☆
	*CSO*	出力する	

## 【フルアスキー変換】

	*CFD*	変換しない	☆
	*CFE*	変換する	

## 【先頭ゼロのトリミング】

	*CZD*	トリミングしない	☆
	*CZE*	トリミングする	

## 6.4.5 Interleaved 2 of 5

設定開始	設定終了
	

## 【読み取り】

	*TDD*	禁止	
	*TDE*	許可	
	*TDJ*	許可(6桁/14桁/16桁のみ)	☆

## 【チェックディジット】

	*TMD*	検査しない	
	*TMN*	検査して削除する	
	*TMO*	検査して出力する	☆

読み取り設定で【許可(6桁/14桁/16桁のみ)】を選択している場合、チェックディジット設定で「検査しない」を選択しても、ITF-4/14/16の規格上チェックディジット検査は行われます。【検査しない】は【検査して削除する】の設定となります。

## 【先頭ゼロのトリミング】

	*TZD*	トリミングしない	☆
	*TZE*	トリミングする	

## 6.4.6 Code93

設定開始	設定終了
	

## 【読み取り】

	*9DD*	禁止	
	*9DE*	許可	☆

## 【先頭ゼロのトリミング】

	*9ZD*	トリミングしない	☆
	*9ZE*	トリミングする	

## 6.4.7 Code128

設定開始	設定終了
	

## 【Code128 の読み取り】

	*1DD*	禁止	
	*1DE*	許可	☆

## 【GS1-128 の読み取り】

	*GDD*	禁止	
	*GDE*	許可	☆

## 【Code128 の先頭ゼロのトリミング】

	*1ZD*	トリミングしない	☆
	*1ZE*	トリミングする	

## 6.4.8 GS1 DataBar

設定開始	設定終了
	

## 【GS1 DataBar(標準)の読み取り】

	*GOD*	禁止	
	*GOE*	許可	☆

## 【GS1 DataBar Limited の読み取り】

	*GLD*	禁止	
	*GLE*	許可	☆

## 【GS1 DataBar Expanded の読み取り】

	*GED*	禁止	
	*GEE*	許可	☆

## 6.5 特殊設定用バーコード

通常の設定用バーコードは設定モードで読み取るものですが、特殊設定用バーコードはバーコード読み取りモードで使用する特別な機能を持った設定用バーコードです。

【設定開始】も特殊設定用バーコードのうちの一つです。

特殊設定用バーコードは、バーコード読み取りモードで読み取った際に、即座に指定の動作を実行します。

### 6.5.1 設定開始

#### 【設定開始】

	L**STA**	設定モードを開始する	
---	----------	------------	--

バーコード読み取りモードで【設定開始】を読み取ると、設定モードに遷移します。

### 6.5.2 リモートアドレスとペアリング情報の消去

#### 【リモートアドレスとペアリング情報の消去】

	L**CLA**	リモートアドレスとペアリング情報の消去	
---	----------	---------------------	--

バーコード読み取りモードで【リモートアドレスとペアリング情報の消去】を読み取ると、本製品に記憶されたリモートアドレスとペアリング情報を消去し、同一ホストとの再接続を避けるため本製品は一旦電源オフします。次に電源オンになった時、新しいホストとのペアリングを開始します。

**重  
要**

【リモートアドレスとペアリング情報の消去】を読み取ったあとは、それまで接続中のホストとの接続は切断され、即座に電源オフとなります。  
ペアリング情報も消去されていますので、起動後に、再度ペアリングを行ってください。

### 6.5.3 USB dongle BTR-UK4 設定変更

#### 【キーボード言語】

	L**UDJ**	日本語キーボード配列	
	L**UDE**	英語キーボード配列	☆

USB Dongle BTR-UK4 のキーボード言語設定を変更します。

本コマンドは、以下の手順で読み取らせませす。

- ① BTR-UK4 とペアリングを済ませ、接続した状態にする
- ② PC ではメモ帳などを開き、HID 入力できる状態にする
- ③ BW-130BT3 の Bluetooth モードで本コマンドを読み取る (設定モードではない)
- ④ メモ帳には「/\$%PROG/\$%1DC2/」などの文字列が入力され、すぐに USB Dongle が再起動する

再起動が完了すると BTR-UK4 のキーボード言語が変更されています。本設定は BTR-UK4 の不揮発性メモリに保存されるため、BTR-UK4 の抜き差しや PC の電源オフ時でも保持されます。

## 6.5.4 メモリモード関連

### 【通信モード切り替え】

	LMPB	メモリモードから Bluetooth モードに切り替える	
	LMPM	Bluetooth モードからメモリモードに切り替える	

メモリモード有効時に、Bluetooth モードとメモリモードを切り替えます。  
Bluetooth モードに切り替えた時は、Bluetooth の接続を行います。  
メモリモードに切り替えた時は、Bluetooth を切断します。

### 【蓄積データ転送】

	LMSN	蓄積データ転送	☆
---	------	---------	---

内蔵メモリに蓄積したデータをホストに送信します。  
本製品は、Bluetooth モードで、ホストと Bluetooth 接続が完了した状態でのみ行えます。メモリモードでは使用できません。  
蓄積データは、【蓄積データ消去】を行うか、【転送後自動削除】を【有効】設定で送信するまで何回でも出力できます。

### 【蓄積データ消去】

	LMCL	蓄積データ消去	☆
---	------	---------	---

内蔵メモリに蓄積したデータを消去します。

#### 注意

蓄積したデータを転送する前に消去すると、蓄積データを出力できなくなります。  
重要な蓄積データは転送後に消去してください。

## 7. 付録

### 7.1 AIMシンボル識別子

AIMコードID キャラクタは、3文字で示されます。

1文字目: "]" (固定)

2文字目: 表 6-1 のアルファベット

3文字目: 表 6-2 の数字 (オプション値)

例) ]E0

表 6-1

キャラクタ	シンボル種別
A	Code39
C	Code128, GS1-128
E	JAN (EAN)-13, JAN (EAN)-8, UPC-A, UPC-E
F	NW7(Codabar)
G	Code93
I	Interleaved 2 of 5
e	GS1 DataBar

表 6-2

シンボル種別	オプション値	意味
Code39	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
	4	チェックディジットのチェックを行っていない(フルアスキー変換有効)
	5	チェックディジットをチェックした(フルアスキー変換有効)
	7	チェックディジットをチェックし、削除した(フルアスキー変換有効)
Code128, GS1-128	0	FNC1 が先頭がない(Code128)
	1	FNC1 が先頭にある(GS1-128)
JAN(EAN)/UPC	0	JAN(EAN)-13, JAN(EAN)-8, UPC-A のデータである
	4	UPC-E のデータである
NW7(Codabar)	0	(オプション値固定)
Code93	0	(オプション値固定)
Interleaved 2 of 5	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
GS1 DataBar	0	(オプション値固定)

## 7.2 設定一覧と初期値

カテゴリ	項目	設定値		
共通設定	節電タイムアウト設定	2分		
	動作モード	メモリモード無効		
	起動時の動作モード	最後の動作モードで起動する		
Bluetooth 通信モード	Bluetooth 共通設定	通信モード	HID キーボード	
		リモートアドレス	未設定	
		リモートアドレスとペアリング情報の消去時間	5秒	
		デバイス名の設定	BW130BT3_(シリアル番号)	
		PIN コード	1234	
		正読・通常動作時のブザーとバイブレータ	ブザーのみ	
		ブザーの音量	Vol4(最大)	
		警告時のブザーとバイブレータ	ブザーのみ	
		ブザーの音量	Vol4(最大)	
		接続確認のブザーとバイブレータ	バイブレータのみ	
		ブザーの音量	Vol4(最大)	
		Bluetooth HID	HID キーボード言語	日本語キーボード
			HID キー送信間隔	送信間隔 なし
	HID プリフィックス		なし	
	HID サフィックス		Enter	
	Bluetooth SPP	SPP プリフィックス	なし	
		SPP サフィックス	CR+LF	
		SPP ACK 待ち時間	3秒	
	Bluetooth USB ドングル	USB ドングル プリフィックス	なし	
		USB ドングル サフィックス	Enter	
メモリモード	メモリモード共通設定	正読・通常動作時のブザーとバイブレータ	ブザーのみ	
		ブザーの音量	Vol4(最大)	
		警告時のブザーとバイブレータ	ブザーのみ	
		ブザーの音量	Vol4(最大)	
		転送後自動削除	無効	
		ヘッダ/フッタ付加	付加する	
		日付付加	日付を付加しない	
		時刻付加	時刻を付加しない	
		シリアル番号付加	シリアル番号を付加しない	
		レコード送信間隔	インターバルなし	
読み取り設定	読み取り共通設定	シンボル ID の出力	出力しない	
		シンボル ID	[6.4.1.2]を参照	
		読み取り可能桁数	[6.4.1.3]を参照	
		AI の括弧	括弧をつける	
		FNC1 コードの出力文字	出力しない	
	JAN / EAN / UPC	読み取り	許可	
		チェックディジット	出力する	
		アドオンの読み取り	読み取らない	
		UPC-A プリアンプルの付与	カントリーコードとシステムキャラクタを付与する(13桁)	
		UPC-E プリアンプルの付与	付与しない(7桁)	

	NW-7 (Codabar)	読み取り	許可
		チェックディジット	検査しない
		チェックディジットの計算方法	モジュラス 16
		スタート/ストップコード	出力する・小文字(a,b,c,d)
		先頭ゼロのトリミング	トリミングしない
	Code39	読み取り	許可
		チェックディジット	検査しない
		スタート/ストップコード	出力しない
		フルアスキー変換	変換しない
		先頭ゼロのトリミング	トリミングしない
	Interleaved 2 of 5	読み取り	許可(6 桁/14 桁/16 桁のみ)
		チェックディジット	検査して出力する
		先頭ゼロのトリミング	トリミングしない
	Code93	読み取り	許可
		先頭ゼロのトリミング	トリミングしない
	Code128	Code128 の読み取り	許可
		GS1-128 の読み取り	許可
		Code128 の先頭ゼロのトリミング	トリミングしない
	GS1 DataBar	読み取り	許可
	GS1 DataBar Limited	読み取り	許可
GS1 DataBar Expanded	読み取り	許可	

---

BW-130BT3

ユーザーズマニュアル

---

2021年1月22日 第1版発行

Copyright©2021 Aimex Corporation.

**アイメックス株式会社**